

③ 災害時における支援の取り組みについて

名張市危機管理室の深山哲郎氏を講師に招いて、名張市の災害時の支援体制について研修を行いました。

① 名張市の現物備蓄について

名張市では、「拠点型備蓄」による現物備蓄を行っています。防災センター内の備蓄倉庫にアルファ米や粉ミルク、毛布等を一箇所に集中して備蓄しているそうです。各地域の避難所へは、災害発生後に市の職員が分担して備蓄品の搬送をする計画だと説明がありました。

また、大規模かつ広域的な災害が発生した場合には、市の備蓄品の不足や多種多様な物資が必要となることも想定されています。そのため、市内の大型物販店や他の自治体等と災害時の物資応援協定を締結し、「流通備蓄」による物資の確保を迅速に行えるよう体制を確保しているとのことでした。

② その他の取り組みについて

主任児童委員部会の定例会時に、避難所の開設に関して検討課題に取り上げられていた点について説明を受けました。

地域の避難所には、『名張市洪水・土砂災害ハザードマップ』^(※4)に示されている浸水想定区域や土砂災害危険箇所等に含まれている施設もあるそうです。避難所の開設は、発生した災害の規模、状況等に応じて開設の可否を決定していくとのことでした。

また、災害時の備蓄の考え方については、市の備蓄を充実していく必要性はあると考えているとのことでした。しかし、各家庭に必要な物資は異なるため、家庭内備蓄の重要性を訴えていき、市と各家庭が相対的に備蓄品を充実していくことが最も大切であるという回答をいただきました。

④ 主任児童委員部会の取り組みとして

① 災害時の乳幼児家庭の市民備蓄についての啓発活動

・『乳幼児がいる家庭の防災お役立ち帳』の作成と配付

「こんにちは赤ちゃん訪問」事業での配付（平成24年4月度訪問より開始）

ひろば事業での活用（配付）

・関係機関への啓発活動に関する助言

② 各地区における乳幼児家庭の把握システムの検討(平成25年度検討課題)

・住宅地図を活用した把握システムについての研修と検討

講師：竹原サヨ子委員

・災害時における児童委員との連携について

乳幼児がいる家庭の
防災お役立ち帳



非常持ち出し品を準備しておきましょう・・・

- ※非常持ち出し品は負担なく持てる重さにしなすよう。
- ※準備の際は、2〜3日分を目標にしましょう。
- ※乳幼児がいる家庭では、子どもの月齢に応じた準備が必要です。
リュックの中身の成長に応じて年2〜4高程度の交換が必要です。
オムツのサイズ・ミルク・母乳液等の入れ替えなど
点検を定期的におこなってください。(保鮮日の目安)



【チェックリスト】 最も必要になる物品リストです。
お住まいで検討し、必要なものを用意しましょう。

対象者	物品	チェック欄	備考
全世帯	非常持ち出し品 リュックの中身		
乳子全数	母子健康手帳		
	保険証・診察券		コピー
	服のワッパ おしりふき		サイズの内入れ替えの要
	オムツやガーゼの ハンカチ(冬用は) 大判ふろしき又は ペーパータオル		下着やオムツの代用品としても利 用できます。 折り出しリュックとしても利用
乳児全数	拭き布		母乳びんの代用品として4〜5日 間使用可能。母乳びん・母乳液、 消毒薬、消毒用アルコール ラップ・紙コップ等
	調整乳粉 飲料水 紙製トイレ		ペットボトル500ml(1〜2本程度) 消毒用アルコール
乳児全数 (6ヶ月〜)	母乳液		月齢に応じて入れ替えが必要

☆アレルギーや疾患がある場合は、必ず必要な食料や薬を忘れず
持ち出しましょう。

※その他必要なもののリスト・・・

お住まいの状況に合わせて、リストに加えてください。

- 例えば余裕があれば
プラスチック製哺乳びん・消毒用アルコール・拭き布・紙
子どものおやつ・おもちゃ・おんぶひも



★災害用備蓄品として、自宅やその周辺に保管する時間も準備しましょう★

発行 名張市民生委員児童委員協議会連合会
編集 名張市主任児童委員部会